

令和7年度

進行管理対象事業一覧表

課名	指定番号	事業名	第2四半期 担当課の評価
緑と公園課	1	国分寺市立黒鐘公園整備事業	計画どおり進行している。
公共施設マネジメント課	2	旧庁舎用地利活用事業	計画どおり進行している。
協働コミュニティ課	3	旧し尿処理施設用地及びストックヤード用地利活用事業	計画どおり進行している。
教育総務課	4	学校ＩＣＴ環境整備事業 (次世代教育系システムへのリプレース)	計画どおり進行している。
まちづくり計画課	5	地理情報システム（ＧＩＳ）導入・運用事業	計画どおり進行している。

令和 7 年度 事務事業進行管理・執行状況報告書

国分寺市事務事業進行管理規則第6条の規定により、執行状況を報告します。

作成日 令和 7 年 9 月 26 日 建設環境 部 緑と公園 課(室) 内線 3508

指定番号	事業名			施策名
1	国分寺市立黒鐘公園整備事業			22 公園・緑地整備
	計画事業年度	令和 7 年度	～	令和 9 年度

実行状況	取組状況・成果		課題
	担当課の評価	計画どおり進行している。	
第1四半期	4月1日 国費・都費補助金申請 4月2日 黒鐘公園整備工事契約の起工 4月9日 公園用地の一部買戻しのための契約締結（市・国分寺市土地開発公社間） 4月17日 一部買戻し用地の登記完了 4月25日 整備工事仮契約締結 6月5日 令和7年第2回市議会定例会にて議決、同日、整備工事本契約締結（工期：令和7年6月6日から令和8年1月30日まで） なお、工事説明会については、7月12日に開催することとした。	担当課の評価 計画どおり進行している。	・整備工事における安全対策について、池及び池周辺の整備内容を確定する必要がある。 ・工事中における公園内を通行する利用者に対して、安全に通行できる歩行者用通路を確保する必要がある。
第2四半期	7月12日 工事説明会開催（参加者3名） ・工事現場進捗状況 7月14日 工事現場着手 8月1日 仮設工完了 8月26日 雨水貯留浸透層完了 9月2日 撤去工・伐採工・撤去物の搬出含めて完了 7月に池及び池周辺の整備内容について整理した。また、工事中における歩行者用仮通路も確保した。工事の進捗は予定通り進んでおり、現在は、遊具工事、トイレ工事に着手している。	担当課の評価 計画どおり進行している。	・設計図書の内容を現場状況に合わせて変更する必要がある。
第3四半期	担当課の評価		
第4四半期	担当課の評価		

政策経営課記入欄	計画的な執行の視点から（執行計画書の進行状況を踏まえて）	
	工事説明会を開催し、公園整備に関する各種工事も順調に行われるなど、スケジュールはおおむね計画どおり進行している。第3四半期においては、今回整理した池及び池周辺の整備内容の変更点を設計に反映するとともに、変更後の工事が計画どおり進捗するよう引き続き丁寧に施工管理を行う必要がある。	

※ 作成者→所管部長(部の取りまとめ)→政策経営課(整理)→政策部長(調整)→市長

令和 7 年度

事務事業進行管理・執行状況報告書

国分寺市事務事業進行管理規則第6条の規定により、執行状況を報告します。

作成日 令和 7 年 9 月 29 日 政策 部 公共施設マネジメント 課(室) 内線 4302

指定番号	事業名	施策名
2	旧庁舎用地利活用事業 計画事業年度 令和 5 年度 ~ 令和 10 年度	29 公共施設マネジメント

実行状況	取組状況・成果	課題
	担当課の評価 計画どおり進行している。 <ul style="list-style-type: none"> 公開したプロポーザル実施要領等において、参加を検討する事業者からの質疑（約400問）を受け、その回答を行った。 参加表明事業者に対し、参加資格審査を行い結果を通知した。 専門部会において関係課から出た意見を踏まえ、旧庁舎用地複合公共施設の「運用に関する基本的な考え方（素案）」を作成している。また、その一環として市民等の意見収集を行うため、オープンハウス（3日間開催、シールアンケート回答者数86名）やWEBアンケート（回答者数：一般52名、小学4～6年生495名、中学1～3年生543名）を開催し、今後実施するパブリック・コメントへ向けた準備を進めた。 令和8年度国庫補助概算要望において、年度ごとの事業費調整、対象経費の積算修正を反映させる計画更手続を行った。 CM業務委託について、事業者選定を進め優先交渉権者を決定した。 旧庁舎等解体工事では、旧第4、5庁舎エリアの解体を完了した。 	<ul style="list-style-type: none"> 公平性・透明性に留意しつつ、参加表明のあった事業者が本事業の主旨に合致した良質な提案を検討できるよう、過不足のない情報提供を目指して事前準備を入念に行い、意義のある個別対話を実施する必要がある。 交付金関連業務においては、事業者決定や交付決定などの関連スケジュール管理のもと、申請・調整等を確実に行っていく必要がある。
第1四半期	担当課の評価 計画どおり進行している。 <ul style="list-style-type: none"> プロポーザル参加者に対し、十分な意思疎通を図り本事業趣旨への理解を深めるため個別対話を実施した。その際の質疑事項に対し、公平・公正に留意し各グループに回答した。 正副審査委員長より意見聴取を行い、技術提案評価採点表の作成を行った。 プロポーザル参加者から技術提案書を受領した。また、10月末の技術提案審査を厳正に実施するため、審査委員への事前説明や提案内容比較表などの審査補助資料準備に着手した。 複合公共施設運用に関する基本的な考え方（案）をとりまとめ、パブリック・コメント実施に向けた準備を完了した。 第三小学校の社会科授業の成果発表会に参加し、意見・提案を受けた。 CM業務委託については、優先交渉権者と仕様書等の協議を行い、8月1日に契約を締結した。契約締結後、全体工程表や業務計画書の作成、運用検討分科会の開催など民間事業者選定に先立ち各種準備や調整業務に着手している。 社会資本整備総合交付金について都と調整の上、令和7年度分の交付申請に着手した。 旧庁舎解体工事では、旧第2庁舎の上屋解体を完了し、旧第1・3庁舎の解体に着手している。 	課題 <ul style="list-style-type: none"> 技術提案審査において、公平・透明な審査を行っていただくため、要求水準に対する提案書の精査や、審査の補助となる資料の準備を入念に行い、審査委員に情報を正確に伝える必要がある。 運用検討面においては、パブリック・コメント説明会に向け十分な準備をするとともに、条例整備のための事前検討に早期に着手していく必要がある。
	取組状況・成果	課題
第2四半期	担当課の評価 計画どおり進行している。 <ul style="list-style-type: none"> プロポーザル参加者に対し、十分な意思疎通を図り本事業趣旨への理解を深めるため個別対話を実施した。その際の質疑事項に対し、公平・公正に留意し各グループに回答した。 正副審査委員長より意見聴取を行い、技術提案評価採点表の作成を行った。 プロポーザル参加者から技術提案書を受領した。また、10月末の技術提案審査を厳正に実施するため、審査委員への事前説明や提案内容比較表などの審査補助資料準備に着手した。 複合公共施設運用に関する基本的な考え方（案）をとりまとめ、パブリック・コメント実施に向けた準備を完了した。 第三小学校の社会科授業の成果発表会に参加し、意見・提案を受けた。 CM業務委託については、優先交渉権者と仕様書等の協議を行い、8月1日に契約を締結した。契約締結後、全体工程表や業務計画書の作成、運用検討分科会の開催など民間事業者選定に先立ち各種準備や調整業務に着手している。 社会資本整備総合交付金について都と調整の上、令和7年度分の交付申請に着手した。 旧庁舎解体工事では、旧第2庁舎の上屋解体を完了し、旧第1・3庁舎の解体に着手している。 	課題
	取組状況・成果	課題
第3四半期	担当課の評価	
	取組状況・成果	課題
第4四半期	担当課の評価	
	取組状況・成果	課題

政策経営課記入欄	計画的な執行の視点から（執行計画書の進行状況を踏まえて）
	CM契約の締結や国庫補助に関する交付申請手続が順調に行われており、スケジュールは計画どおり進行している。第3四半期においては、パブリック・コメントの実施が予定されていることから、利便性が高く満足度の高い複合公共施設となるよう、関係課と検討した上で、市民要望をできる限り運用計画に反映する必要がある。また、複合公共施設の新たな主管課が決定する予定であることから、遺漏ないよう円滑な事業引継ぎを行っていただきたい。

※ 作成者→所管部長(部の取りまとめ)→政策経営課(整理)→政策部長(調整)→市長

令和 7 年度 事務事業進行管理・執行状況報告書

国分寺市事務事業進行管理規則第6条の規定により、執行状況を報告します。

作成日 令和 7 年 9 月 30 日 市民生活 部 協働コミュニティ 課(室) 内線 1301

指定番号	事業名	施策名	
		10 地域連携	
3	旧し尿処理施設用地及びストックヤード用地利活用事業 計画事業年度 令和 5 年度 ~ 令和 10 年度		

実行状況	取組状況・成果		課題
	担当課の評価	計画どおり進行している。	
第1四半期	第2回定例会に、実施設計業務委託費及び用地買戻し費用の不足分を補正予算に計上し、議決をいただいた。 関係各課との調整を行い、実施設計業務委託契約に向けて正副市長・教育長のレクを行い、契約締結依頼を行った。 8月に予定している旧し尿処理施設用地買戻しに向けて、財産価格審議会に議案を提出して、承認をいただいた。		新施設が3階建から2階建に変更となり、建床面積が増えたことによる遺跡発掘調査面積が増え、工事期間や費用面への影響が懸念される。 ・ストックヤード用地の境界確定を行う必要があり、事業スケジュールへの影響が懸念される。 ・本事業に直接影響はないが、遺跡発掘された瓦等の保管について整理が必要と感じる。
第2四半期	令和7年7月4日に、旧し尿処理施設用地買戻しのため土地売買契約を締結するとともに、8月29日に支払いを行い、協働コミュニティ課への所管替えを完了した。 令和7年7月23日には、新もとまちプラザ建設に係る実施設計業務委託の契約を締結した。継続的に新施設の打合せを実施し、次年度当初予算に計上する項目（文化財調査費）について、協議を進めていく。 第3回定例会にてストックヤード解体工事費の予算が可決され、今後、担当課において解体に向けて事務を進めていく。		・ストックヤード用地の境界確定を行う必要があり、事業スケジュールへの影響が懸念される。 ・本事業に直接影響はないが、遺跡発掘された瓦等の保管について整理が必要と感じる。
第3四半期	担当課の評価		
第4四半期	担当課の評価		

政策経営課記入欄	計画的な執行の視点から（執行計画書の進行状況を踏まえて）	
	旧し尿処理施設用地の買戻しやストックヤード解体工事に関する予算の確保などが適切に行われ、スケジュールは計画どおり進行している。第3四半期においては、市民説明会を開催する予定であることから、新施設への機能及び利便性に関する市民要望をできる限り運用に反映できるよう、関係課と十分に検討した上で、保有機能を決定する必要がある。また、引き続き、ストックヤード用地の境界確定の年度内完了に向けて取り組んでいただきたい。	

※ 作成者→所管部長(部の取りまとめ)→政策経営課(整理)→政策部長(調整)→市長

令和 7 年度 事務事業進行管理・執行状況報告書

国分寺市事務事業進行管理規則第6条の規定により、執行状況を報告します。

作成日 令和 7 年 9 月 30 日 教育 部 教育総務 課(室) 内線 2918

指定番号 4	事業名 学校 I C T 環境整備事業 (次世代教育系システムへのリプレース)	施策名			
		計画事業年度	令和 7 年度	～	令和 12 年度

執行状況	取組状況・成果		課題
	担当課の評価	計画どおり進行している。	課題となる事項はない。
	次世代教育系システム導入・運用業務委託については、教育委員会内の各業務主管課とも連携して、システム構築に向けた設計作業を進めている。また環境構築に向けて、ネットワーク敷設対象拠点の現地調査と機器の手配を実施した。 G I G Aスクールタブレットの共同調達については、東京都G I G Aスクール推進協議会による企画提案審査委員会を経て選定された事業者と令和7年6月に契約を締結した。令和7年10月に納品を予定している。		
	担当課の評価	計画どおり進行している。	
	次世代教育系システム導入・運用業務委託については、教育委員会内の各業務主管課とも連携して、システム構築に向けた設計作業を進めている。また環境構築として、ネットワークの新規敷設及び動作確認を進めている。 G I G Aスクールタブレットの共同調達については、受託事業者により納品に向けて準備を進めている。		
	担当課の評価	計画どおり進行している。	
	担当課の評価	計画どおり進行している。	
	担当課の評価	計画どおり進行している。	

政策経営課記入欄	計画的な執行の視点から（執行計画書の進行状況を踏まえて）	
	実績	目標
	小中学校における I C T 環境の整備に向けて、コンサルティング事業者の効果的な活用によるシステム設計及び関係課との調整が順調に行われ、スケジュールは計画どおり進行している。第3四半期においては、ネットワーク敷設工事やオンライン研修の準備等を着実に進めていく必要がある。また、システム設計が完了した機能からデータ移行設計を開始するよう方針を変更したことだが、全体の進行管理に留意しつつ、柔軟に対応していただきたい。	

※ 作成者→所管部長(部の取りまとめ)→政策経営課(整理)→政策部長(調整)→市長

令和 7 年度 事務事業進行管理・執行状況報告書

国分寺市事務事業進行管理規則第6条の規定により、執行状況を報告します。

作成日 令和 7 年 9 月 26 日 まちづくり 部 まちづくり計画 課(室) 内線 3109

指定番号 5	事業名 地理情報システム（G I S）導入・運用事業	施策名 27 デジタル化推進	
		計画事業年度 令和 7 年度	実績事業年度 令和 12 年度

執行状況	取組状況・成果		課題
	担当課の評価	計画どおり進行している。	<ul style="list-style-type: none"> 優先交渉権者との契約締結に向けた仕様等の最終調整を行う必要がある。 システム構築を円滑に行うことができるよう、関係課及び委託事業者と常に情報共有を図る必要がある。 スケジュール管理の徹底を継続する必要がある。
	第1四半期	<ul style="list-style-type: none"> 審査会にて、公募型プロポーザル実施要領等の審議を行った。 競争入札業者選定委員会にて、公募型プロポーザル実施要領等の審議を行った。 公募型プロポーザルの公告を行い、企画提案の受付を行った。 4社の企画提案に対し、第一次審査（書類）、第二次審査（プレゼンテーション等）を行い、審査会での審議の結果、優先交渉権者を選定した。 	
	第2四半期	取組状況・成果	
	第2四半期	担当課の評価	
	第3四半期	取組状況・成果	
	第3四半期	担当課の評価	
	第4四半期	取組状況・成果	
	第4四半期	担当課の評価	

政策経営課記入欄	計画的な執行の視点から（執行計画書の進行状況を踏まえて）	
	地理情報システム（G I S）の導入・運用に向けた検討が順調に行われ、スケジュールは計画どおり進行している。第3四半期においては、次年度以降の運用保守も見据えたシステム設計を事業者と共に丁寧に進めつつ、更なる事業展開にも対応できるよう、府内における情報共有と関係課との調整を計画的に行っていく必要がある。	

※ 作成者→所管部長(部の取りまとめ)→政策経営課(整理)→政策部長(調整)→市長